

第41回長崎県茶園共進会特別賞（九州農政局長賞）受賞

田中 学 さん

（今福・坂野、55）



長崎県茶園共進会の審査では、出品された茶園を樹勢（樹齢や葉長など）・樹形整備（樹高や樹形仕立など）・栽培管理（害虫防除や土づくりなど）・経営条件（面積など）の区分でそれぞれ評点し、総合点で順位を決めます。今回は県内26の茶園が出品されました。田中さんが出品した茶園（品種…やぶきた、40ア）は審査会で総合93点を取り、1位（優等）九州農政局長賞を受賞しました。

子ども県展版画部門特別賞（知事賞）受賞

香川 芽那さん

（福島小学校5年生）



子ども県展で、県内の小中学生の応募作品71,065点（絵画・版画・立体・デザインの4部門）から選ばれた特選830点のうち、60点が特別賞を受賞しました。香川さんが受賞した知事賞は版画部門では最高賞です。香川さんは「楽しんでながら作った作品なので、素晴らしい賞を受賞できてとてもうれしいです」と話していました。

わたしたちの郷土

— 96巻 —

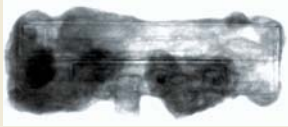
中世の松浦（62） 鷹島海底遺跡

平成17年10月に福岡県太宰府市に九州国立博物館が開館しました。ここには、博物館で展示されるさまざまな材質の文化財の内部構造調査を目的に、国内最大の文化財専用X線CTスキャナが導入されています。この装置は直径約30センチ位の比較的小型の文化財であれば、約10分程度の非常に短時間で最高0.2ミリの高精度で内部構造が調査でき、その場で測定結果を確認できる極めて実用的なCT装置です。

松浦市では九州国立博物館のご協力の下、平成18年度からX線CT装置を利用して、鷹島海底遺跡の出土遺物を調査しています。昨年度までに「蒙古襲来絵詞」に描かれている「てつはう」や鉄製胃、矢束、青玉製雌雄鹿像など約100点を調査し、25年度は8月と先月に、錆に覆われている鉄製品57点の調査を行いました。先月号の市報では新たに火打ち金の発見をお伝えしたところです。写真の遺物は全面錆に覆われており、鉄製金具として分類していただきました。平成25年6月の長崎県埋蔵文化財センターで行ったX線透過撮影で錠前の可能性が指摘されました。さらにX線CT装置で詳細な調査を行い、透過撮影時には釘と考えられた部分が金具であること、内部に鉄以外の金属が使用されていることが新しく判明しました。大きさは横約12センチ、縦約6センチあり、今後、錠前の保存処理方法について専門家の意見を聞くこととしています。



▲ X線透過画像



▲ X線CT画像



## 第3回全九州アンダージュニア ボクシング選考会出場

1月25・26日に鹿児島県総合体育センター体育館（鹿児島市）で開催された、第3回全九州アンダージュニアボクシング選考会の中学生男子60<sup>キ</sup>級に、長崎県代表として志佐中学校1年生の野上昂生さんが出場しました。

野上さんは、平戸市にある県北ボクシングジムで平成23年10月からボクシングの練習を始めました。今回の大会には、長崎県ボクシング連盟の推薦により県代表として出場しました。

選考会では、初戦で、優勝した宮崎県代表選手と対戦し、惜しくもTKO負けとなりましたが、今後のための良い経験となりました。



## 九州地区スポーツ推進委員功労者表彰

志水

孝信<sup>たかのぶ</sup>さん

（福島・播磨釜、48）

平成5年に福島町体育指導委員に就任。引き続き平成24年4月から、松浦市スポーツ推進委員として活躍されています。

就任以来、福島町一周駅伝大会運営に尽力されるとともに、本市の社会体育事業である市民駅伝大会をはじめ、ロードレース大会、体力測定などにも積極的に参画されています。

またニュースポーツ出前講座などの指導者として若手育成に力を注がれるとともに、市民の健康増進のために生涯スポーツの振興にも大きく貢献されています。

## 第34回全九州ミニバスケットボール宮崎大会で準優勝

志佐小学校ミニバスケットボールクラブが、1月11～13日に宮崎市総合体育館などで開催された、第34回全九州ミニバスケットボール宮崎大会に出場し、2年連続準優勝を収めました。

1回戦は福岡県代表（山口）と対戦し、相手を寄せ付けない試合展開で勝利。つづく2回戦の熊本県代表（フォルティス）との対戦では、緊張も解けて終始志佐小ペースで試合を進め勝利しました。準決勝では優勝候補の沖縄県代表（中原小）と対戦し、相手にリードされながらも諦めることなく延長戦の末に勝利しました。決勝戦は長崎県大会決勝戦で敗れた大園小との対決となり、準決勝と同様に延長戦にもつれ込む緊迫した試合展開となりましたが、惜しくも1点差で敗れて準優勝となりました。

1月20日には市役所で結果報告会が行われました。

黒川コーチは「自分たちのバスケットができました。これだけであれば十分だと思っています。このチームは身長も高くなく、下級生も多く、特別な何かを持っているチームではありませんが、技術力・チーム力で良い結果が出せました。また、会場にもたくさんの人に応援に来ていただきありがとうございました。来年からも良いチームをつくっていきます」と話しました。

なお、1月18～25日に開催されたNBC杯ミニバスケットボール大会では、決勝で大園小を破って優勝し、見事に雪辱を果たしています。

